令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本近現代史	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	詳説日本史探究　（山川出版社）						
副教材等	歴史資料集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、自ら調べ、多様な意見に学びながら、自らの歴史観を育もう。
・近現代日本史を、世界史との応答の中で捉え、国際社会に主体的に生きる日本人としての教養を身につけよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け、歴史的観点から理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・諸資料を多角的に検討し、歴史的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
・世界と日本の歴史を関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての教養を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・近現代史を中心とする日本と世界の歴史についての基本的な事柄を応答させながら理解し、その知識を身に付けている。	・現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、世界史との応答を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できている。	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚をもっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和４年度以降入学生用

４　学習の活動（後期）

単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
近代・現代	第11章　近世から近代へ 1.開国と幕末の動乱 2.幕府の滅亡と新政府の発足 第12章　近代国家の成立 1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立	a：文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸制度の改革にともなう社会・文化の変化を多面的に考察する。 b：幕末明治維新の激動期を生きた人物をとりあげ、個人の人生と時代のダイナミズムを表現する。 c：開国以後、明治維新をへて近代日本が急速に形成された過程を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。 定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。 提出物で評価。
近代・現代	第13章　近代国家の展開 1.日清･日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制 第 14 章　近代の産業と生活 1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化	a：条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目し、国際環境や政党政治の推移について、また産業革命の進行、都市や村落の生活と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及に着目し、近代産業の発展と国民生活の変化について考察する b：欧米列強との緊張関係やアジア諸国民との関係の中で明治の思想･学問･文化について調べる。 c：日本における近代立憲政体の成立と国際的地位の向上について、意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。 定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。 提出物で評価。

令和 4 年度以降入学生用

近代・現代	第 15 章　恐慌と第二次世界大戦 1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界大戦 第 16 章　占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	a:　世界恐慌からファシズム体制に至る国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目し、対外政策の推移と戦時体制の強化など、第二次世界大戦と日本のかかわりについて考察する。 b:　なぜ、太平洋戦争は防げなかったのか、国際的視点を入れながら調べ、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。 c:　世界恐慌からファシズム体制に至る国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目し、対外政策の推移と戦時体制の強化など、第二次世界大戦と日本のかかわりについて、意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。 定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。 提出物で評価。
近代・現代	第 17 章　高度成長の時代 1. 55 年体制 2. 経済復興から高度経済成長へ 第 18 章　激動する世界と日本 1. 経済大国への日本 2. 冷戦の終結と日本社会の変容	a:　戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目し、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。 b:　祖父母と父母の生活史の聞き取りを通じて、家族の戦後日本史をまとめ、考察する。 c:　戦後の経済復興・高度成長から現代の日本について意欲的に考察し、我が国の課題と役割について主体的に考えることができる。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。 定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。提出物で評価。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度